

平成25年度 第8回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成25年12月10日（火） 10時30分～11時31分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，福本文化教育学部長，平地経済学部長，藤本医学部長，渡邊農学部長，諸泉全学教育機構副機構長，稲岡附属図書館長，遠藤教養教育運営機構長，事務局長

欠席者 石橋工学系研究科長，吉田総合分析実験センター長

陪席者 なし

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 美術館設置事業の募金状況等について

総務課長から，12月6日現在の美術館設置事業の募金状況について，教職員，個人・学外，法人・団体など寄附者の内訳，金額及び募金率等の報告があった。また，今後も各部局等において，寄付金について協力いただきたい旨の依頼があった。

(2) 大学改革実行プランの対応について（学部・研究科の課題への対応について）

企画評価課長から，本学における大学改革実行プランの対応について，着手から課題等についての意見交換，さらに対応策の作成等，経緯の説明があった。

また，学長から，これまで膨大な取りまとめ作業に協力いただいたことに対する謝辞と今後も課題解決に向け尽力いただきたいこと，特に改組を控えている部局にあっては，課題を先送りすることなく，実績を残すために，より一層，努力いただきたい旨の発言があった。

(3) 第1回中期目標・中期計画実施本部会議について

企画評価課長から，11月20日に開催された第1回中期目標・中期計画実施本部会議について，平成25年度年度計画の進捗状況を責任部局別

や進捗状況評価別等に整理したものであり、各担当部署においては、内容を確認いただき、未実施の計画については早急に着手いただきたい旨の依頼があった。また、平成26年度の年度計画等策定スケジュール（案）及び大学機関別認証評価の試行等について説明があった。

次いで、瀬口理事から、教育の質保証を進める必要があることや平成27年度の認証評価受審もあることから、教育室等との連携を図るため、各学部から評価の責任者として、教員1名及び事務職員1名の推薦依頼があった。

また、学長及び岩本理事から、これらは第2期中期目標・中期計画の研究教育の評価、また、第3期の予算へ反映されるものであるため、より高い評価を目指して取り組んでいただきたい旨の依頼があった。

さらに、監事から、さまざまな取り組みについて、PDCAサイクルとはいっても、何事もPDで終わっているようであり、P（プラン）を策定する際には、C（チェック）を見据えて作ることが重要ではないか等の意見があった。

（4）組織再編基本構想検討プロジェクトチームの設置について

学長から、本件について、プロジェクトチームの設置に至った経緯の説明があった。また、有田窯業大学校に関しては、来年3月までには成案としたいこと、そのためには文化教育学部の改組案が重要であることの発言があった。

さらに、文化教育学部の新課程は全学的な視野に立って改編しつつ、第3期中期目標期間末までに廃止することや第3期中期目標期間中に教職大学院を設置すること等を踏まえ、たたき台として、今後の再編構想をイメージしたこと、また、検討PTやWGを中心に議論を進めていくので、その協力依頼と議論の進捗状況は随時報告していく旨の発言があった。

（5）平成25年度第10回拡大役員懇談会における議論の概要について

学長から、本件について、11月20日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

（6）第2期中期目標期間における各年度終了時の評価に係る実施要領等の一部改正等について

企画評価課長から、改正の概要として、文部科学省において策定された「今後の国立大学の機能強化に向けての考え方（平成25年6月20日）」を踏まえた取組状況のフォローアップがされること、また、平成24年度補正予算（第1号）に関する目標の評価が行われること等の説明があった。

（7）大学ポートレート（仮称）に関するスケジュールの変更について

企画評価課長から、本件について、当初の予定からスケジュールが変更

となった理由，主な変更内容及び本学における今後の対応に向けた留意点等について報告があった。

(8) 独立行政法人における役職員の給与について

岩本理事から，平成25年11月15日閣議決定された「公務員の給与改定に関する取扱い」に基づき，文部科学省大臣官房長から各大学長に対し，独立行政法人における役職員の給与について，「東日本大震災からの復興のための財源を確保するため国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律（平成24年法律第2号）に基づき実施されている給与減額支給措置については，同法の規定のとおり平成26年3月31日をもって終了するものとする。」旨の通知があったこと，あわせて，役職員の給与改定に当たっては，国家公務員の給与水準を十分考慮し，適切に対処するよう要請があった旨の報告があった。

(9) 経費節減状況の報告について

財務課長から，本件について，平成25年度年度計画を達成するために，各部局において，経費削減計画に定めた目標削減率の達成に向けた取り組みを実施していただいているところであるが，昨年度の平成24年10月までと平成25年10月までの実績について，その増減についてまとめたものであり，削減計画の実施にあたり参考にしていただきたいこと，また，前回の意見を踏まえ，医学部と附属病院を分けて取り扱うこととした旨の説明があった。

(10) 平成26年度科研費の申請状況について

研究協力課長から，本件について，平成26年度科研費申請は619件であったこと，また，昨年と今年の申請件数の比較やその内容について報告があった。

(11) 日経グローバル「全国大学の地域貢献度ランキング」の結果について

研究協力課長から，本件について，毎年調査があっているものであるが，昨年の43位から，今回は70位へ順位が下がったこと，その要因として，他大学の努力もあるが，本学の回答があまりにも厳密に解釈したことにより，評価が低くなってしまったものである旨の報告があった。

(12) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

- 経済学部長から、川東地区の建築物における色彩計画の件で要望等があった。また、工事予算等に関して環境施設部長から説明があった。

- 財務課長から、会計検査院の現地検査が本日から始まるので、その対応について、必要に応じて各学部の事務を通じ、連絡をすることとなるので、協力いただきたい旨の依頼があった。

【 その他 】

特になし。

以 上